

2026年 2月21日

## 第8回 J-VILLAGE CUP U-18 女子 参加報告書

オホーツク地区 鈴木陽和

### 1, はじめに

この度、福島県で行われた第8回 J-VILLAGE CUP U-18 女子に派遣していただきましたので、報告させていただきます。

### 2, 研修会概要

参加大会：第7回 J-VILLAGE CUP U-18 女子

研修日時：2026年2月6日（金）～2024年2月8日（日）

会場：福島県ナショナルトレーニングセンター J ヴィレッジ

参加者：各地域派遣審判員：計14名

講師：鮎貝志保氏、漆畑成子氏、江角直樹氏、佐藤ゆみ氏



### 3, 事前研修会

研修日時：2026年1月27日

研修内容：大会要項の確認・大会参加に向けて・競技規則の精神

研修会場：ZOOM

### 4, 担当試合

2026年2月7日	マイナビ仙台レディースユース vs 常盤木学園高等学校	前半 主審 後半 A1
2026年2月7日	JFA アカデミー福島 vs マイナビ仙台レディースユース	前半 A1
2026年2月8日	尚志高等学校 vs 鹿島学園高等学校	前半 A2 後半 主審

### 5, 担当試合振り返り

- ① マイナビ仙台レディースユース vs 常盤木学園高等学校 前半主審 後半 A1 担当  
INS：漆畑成子氏

#### 【自己振り返り】

課題である笛の音色、自信を持ったレフェリングを意識して挑んだ。両チーム予期せぬボールロストが多く、予測とうまく合わずにスムーズに動けなかった。動きに緩急

をつけられなかった。副審とアイコンタクトやシークレットサインを積極的に活用し、差し違いや判定ミスがなく終わることができた。

【INS：漆畑成子氏コメント】

・顔をよく振って情報を集めている

→オフサイドの見逃しがなかった

・遅れた時のスプリントが良かった

→遅れても best より better な位置で見れるようにする

・レフェリーサイドをよく使えている

→レフェリーサイドから内側に入る動きをもっと増やすといい（特にペナルティーエリア内）

② JFA アカデミー福島 vs マイナビ仙台レディースユース 前半 A1

INS：佐藤ゆみ氏

特に介入なし

③ 尚志高等学校 vs 鹿島学園高等学校 前半 A2 後半主審

INS：佐藤ゆみ氏

【自己振り返り】

課題の笛の音色と自信を持つことは継続しながら、新たにレフェリーサイドからペナルティーエリアに入ることも意識して挑んだ。前半から強度のある試合だったため、ファウルの基準を下げてしまわないようによりいい角度で見れるように意識した。自信をもって判定ができ、マネジメントも積極的に行えた。距離が遠いと感じる事が何度かあった。

【INS：佐藤ゆみ氏コメント】

・気づきがたくさんあり、自分から行動できていた

→フリーキックのクイックの保証もできていた

・ペナルティーエリアへの入りが良かった

→最終的にいい位置にいるから、そこまでの過程とタイミングを工夫するとい

・タッチライン付近でプレーしているときの距離が遠い

→まずは近づいて離していくとちょうどいい距離感を見つけられる

→先の予測をしすぎているため、1つ先ぐらいにとどめてポジションをとると良い

## 6. 終わりに

この度は、第8回 J-VILLAGE CUP U-18 女子に派遣していただき、ありがとうございました。普段女性審判員だけで割り当てを組めることが数多くないため、すごく新鮮な気持ちでレフェリングすることができました。また、各地域の審判員の協力やインストラクターの方々のサポートのおかげで、自分の長年の課題であった自信をもってレフェリングをするということを克服でき、とても実りのある研修会にすることができました。これからさらに成長できるよう、地域や北海道で努力を続けていきます。

